

# 弘前大学学報



私には、また別の専門科目があるのだ。  
世人は假りにその科目を愛と呼んでゐる。  
人の心と人の心の觸れ合ひを研究する科目である。  
私はこのたびの旅に於いて、  
主としてこの一科目を追及した。

大宰治『津軽』より

太宰治文学碑

第 63 号  
平成21年6月号

**学内ニュース**

○弘前大学創立60周年記念式典式辞	弘前大学長 遠藤正彦	1
○弘前大学創立60周年記念式典・学術講演会・祝賀会を举行	-----	4
○「太宰治碑」「幸せのリング」披露	-----	6
○弘前大学名誉博士称号授与式を举行	-----	8
○「第4回弘前大学鷹揚さくら会」を開催	-----	9
○弘前大学名誉教授称号授与式を举行	-----	10
○「弘前大学表彰」表彰式を举行	-----	11
○「弘大ライナーズ」 朝野球大会連続40年出場表彰及び弘前大学表彰受賞	-----	12
○北日本新エネルギー研究センターの開所式を举行	-----	13

**諸会議**

-----	14
-------	----

**人事**

○人事異動	-----	17
-------	-------	----

**主要日誌**

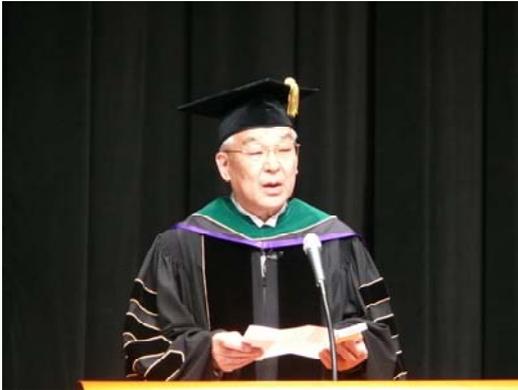
-----	18
-------	----

**学内規則**

-----	19
-------	----

- 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正
- 国立大学法人弘前大学期末手当，勤勉手当及び期末特別手当支給細則の一部改正

## 式 辞



弘前大学は、昭和24年5月31日に創立されて以来、今年で満60年になりました。本日、その創立60周年記念式典を挙げるに当たり御案内致しましたところ、文部科学事務次官 銭谷眞美殿、青森県知事 三村申吾殿、弘前市長 相馬鋳一殿、本県選出国會議員の方々他、各界の多数のご来賓各位のご臨席を賜りました。御来賓方々の

ご臨席を大変光栄に存じ、衷心より厚く御礼を申し上げます。

弘前大学の創立から今日までの経緯と、これからの弘前大学についての決意を申し上げたいと思います。

弘前大学は、旧制弘前高等学校、青森師範学校、青森青年師範学校、青森医学専門学校及び弘前医科大学を包括校とし、文理学部、教育学部と医学部の三学部から成る大学として昭和24年創立されました。

しかし、弘前大学をはじめとして新制の国立大学は、第二次世界大戦直後のことで、その体制をつくることに大変な苦勞を致しました。特に弘前大学は、その包括校の青森師範学校と青森医学専門学校とが、終戦直前に青森市で戦災にあつて全焼し、弘前市のご好意により、この弘前市に移転してきた直後であり、老朽化していた旧制弘前高等学校校舎、旧小学校校舎、旧陸軍の兵舎等を校舎としての出発でありました。

その後は、全国の国立大学がそうであったように、本学も戦後の疲弊した国土の中で、老朽化した校舎や教育・研究機材の不足などの困難を、当時の文部省のご指導と地域のご支援の下に、歴代の学長を中心に教職員の努力により乗り越えてきました。この間、本学は、三度にわたる火災と附属病院の病室の一部が水没するという水害とに見舞われ、また地震の被害も受けました。全国を風靡した大学紛争では、授業ボイコット、校舎の封鎖や警官隊の導入などもありました。

こうした状況の中で、本学は青森県内唯一の国立大学として少しずつ発展してきました。平成3年の大学設置基準の大綱化の下に、教養部の廃止に端を發した本学の大改革が始まり、学部間のシャッフルを経て、現在の体制、即ち、学部と大学院の学生の総収容定員6,561名を擁する、人文学部、教育学部、保健学科を含む医学部、理工学部、そして農学生命科学部の



5学部と、それぞれに直結した大学院修士または博士課程と独立専攻の大学院地域社会研究科とからなる7大学院という完成度の高い中規模総合大学としての体制ができあがりました。

平成16年4月、全国の国立大学は一斉に設置形態を変えて国立大学法人化されました。国立大学法人化は言うまでもなく、国の直接的管理を離

れて、一法人として自主・自律性を高めて自らが管理運営することです。しかし、地方大学としての弘前大学は、大学の持つ固有の資源に関する大学間格差と、地域の経済産業等の基盤に関する地域間格差とを背負っての出発でした。国立大学法人化の折、本学は教育と研究と社会貢献の3本柱を第一期の中期目標・中期計画に掲げました。本学は地元青森県を始めとする地域の自治体や企業等との包括協定を結び、これらの支援と文部科学省の強力な支援の下に努力した結果、その第一期中期目標・中期計画の実績評価につきましては、この国立大学法人化後大きく発展したと一定の評価を得るに至りました。

今、弘前大学は第二期中期目標・中期計画を策定中ですが、本学は本学の立地する青森県の特性を踏まえて、地域に根ざした教育と研究を土台に、地域社会の求める人材育成、そして世界に羽ばたく人材を育成するという方針が立てられています。即ち、青森県のエネルギー基地としての一翼を担うべく青森市内に新設された“北日本新エネルギー研究センター”，これを中心とした自然エネルギー，世界自然遺産白神の近くに設置された我国最大規模の植物園“白神自然観察園”，これを中心とした地球温暖化・環境保全，文部科学省と青森県の強力な支援の下に立ち上がった我国初の緊急被ばく医療を担う“高度救命救急センター”，これを中心とした先進医療と地域医療，弘前大学構内に設置され我国最長のフーコーの振り子を持つ“サイエンス・パーク”と，これを中心とした小中高生の理科振興，食糧基地としての青森県を土台としての食育と食の安全，これらの5つのテーマを基本の柱とした本学の，第二期中期計画をたてることにしています。

今年の創立60周年は、人間という還暦であり、国立大学法人第一期中期目標の評価を受けて第二期へ向けてのステップであります。

この創立60周年記念事業は、学外に青森県三村申吾知事を名誉顧問，吉田豊前弘前大学長を会長，弘前大学同窓会 三上巽会長と弘前大学後援会 石戸谷忻一会長を副会長とする，弘前大学創立60周年記念事業後援会が設立され，この創立60周年記念事業を強力に支援してい



いただきました。心からの御礼を申し上げます。

創立60周年記念事業については、後にその詳細が報告されますが、主なことを御紹介致しますと、本日のこの創立60周年記念事業は、記念式典を始めとして“学生参加”ということを中心にして進んでまいりました。創立60周年記念歌の制作、創立60周年記念誌等の他に、

本学文京町キャンパス内に産学官連携事業の拠点となる総合ビル“コラボ弘大”が建設され、この一階エントランスホールには、日展審査員であり我国の金工の第一人者である東京藝術大学長 宮田亮平先生により、記念モニュメントとして、金工作品“幸せのリング”が作製され、先程宮田先生の手により除幕式が行われました。宮田先生には本日の式典後の記念学術講演もお願いしてあります。

今年には本県の生んだ太宰治氏の生誕100年にも当たり、同氏は本学の前身・旧制弘前高等学校の卒業生でもありますので、この創立60周年記念事業に合わせて、太宰治氏にゆかりのある本学構内の旧制弘前高等学校外国人教師館の脇に文学碑を建立し、先程除幕式がとり行われました。

弘前大学は、昭和24年3学部からなる小さな地方の大学として発足しましたが、文部科学省、地元青森県及び弘前市の支援と、本学の先人達の血のにじむような努力の積み重ねにより、今日の姿にまで発展してまいりました。これまで本学の発展を支え、応援してこられた方々に、衷心から厚く御礼申し上げます。

この創立60周年記念式典を迎えてみると、明らかに第二期中期目標への確固たる自信が生まれてきた様に思います。これからは、弘前大学のモットーである“世界に発信し、地域と共に創造する 弘前大学”を、より一層高くかかげて邁進致しますので、一層の御支援をお願い致します。この決意を新たにして、式辞と致します。

平成21年6月6日

国立大学法人 弘前大学長 遠藤正彦

## 弘前大学創立60周年記念式典・学術講演会・祝賀会を挙行

創立60周年記念式典・記念学術講演会が、6月6日（土）午後2時から弘前文化センターにおいて開催されました。

記念式典・記念学術講演会には、銭谷文部科学事務次官、三村青森県知事らをはじめ、大学関係者、来賓、学生など約400人が出席し、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団による演奏で幕開けしました。

続いて、遠藤正彦学長が「弘前大学は昭和24年5月に3学部からなる小さな地方の大学として発足し、文部科学省、地元青森県及び弘前市の支援と、本学の先人達の血のにじむような努力の積み重ねにより、今日の姿にまで発展してきた。これからは、弘前大学のモットーである“世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学”をより一層高くかかげて邁進する決意である。」と式辞を述べました。

銭谷文部科学事務次官、三村青森県知事の来賓祝辞に続き、同大学人文学部3年の萩原有希子さんが学生代表祝辞を述べた後、全国公募により制作した記念歌「新たな明日へ」を同大学フィルハーモニー管弦楽団と同大学混声合唱団が披露し、式典を盛り上げました。

式典後、記念学術講演会が行われ、「ときめきを伝えるとき」と題して宮田亮平東京藝術大学長による講演が行われました。宮田学長の楽しい話術に会場内からはときおり笑いが起こっていました。

また、記念学術講演の後、ベストウエスタンホテルニューシティ弘前に移し、和やかに祝賀会が催されました。



公募により制作した記念歌「新たな明日へ」を披露する弘前大学  
フィルハーモニー管弦楽団と同大学混声合唱団



祝辞を述べる 錢谷文部科学事務次官



祝辞を述べる 三村青森県知事



学生代表祝辞  
(人文学部3年 萩原有希子さん)



記念学術講演の宮田亮平東京藝術大学長



祝賀会での鏡開き

## 「太宰治文学碑」「幸せのリング」披露

弘前大学では、6月6日の創立60周年記念式典に先立ち、同日午前と同大文京町キャンパス内にある旧制弘前高等学校外国人教師館の脇に建立した「太宰治文学碑」の除幕式を実施しました。

太宰治は、同大の前身校の一つである旧制弘前高等学校の卒業生で、今年は生誕百年にあたりま  
す。除幕式には太宰治の長女、津島園子氏も出席し、「父も喜んでいると思います。文学碑が、これ  
から巣立っていく学生さんの心にも残ってほしい」と語りました。文学碑の周りには、記念植樹とし  
て牡丹が植栽されました。

続いて、産学官連携事業の拠点として同キャンパス内に建設した総合ビル「コラボ弘大」の施設披  
露と、一階エントランスロビーに記念のモニュメントとして設置された宮田亮平東京藝術大学長の金  
工作品「幸せのリング」の除幕式が行われました。



「太宰治碑」を除幕する津島園子氏（左）と遠藤学長（右）



金工作品「幸せのリング」



「幸せのリング」を前に歓談する宮田藝術大学長と遠藤学長（右）

---

## 弘前大学名誉博士称号授与式を挙

弘前大学は、平成21年6月5日（金）、弘前大学創立60周年を記念して、国際交流の発展に多大な貢献をし、本学の教育研究の進展に顕著な功績のあった中国延辺大学総長金柄珉（ジンビン）氏、ルーマニアヒッペリオン大学学長イオン スプヌレスク氏、同じくヒッペリオン大学教授アンジェラ ホンドゥル氏及び医学英語教育に尽力し、本学の教育研究の進展に顕著な功績のあった弘前大学客員教授ポール ホリスター氏の4名に対し、名誉博士の称号を授与しました。

授与式では、須藤理事及び佐藤医学研究科長より名誉博士号を授与するに至った経緯及びこれまでの功績等について説明の後、遠藤学長が名誉博士記を授与するとともに、祝辞を述べ、授与式は終了しました。

本学では、学術文化又は国際交流の発展に多大な貢献があり、本学の教育研究の進展に寄与した功績を認めた際に弘前大学名誉博士の称号を授与し、これまでに今回の受章者を含め8人に授与しています。

（ヒッペリオン大学は1998年9月、延辺大学は2000年8月に本学と国際交流協定を締結。）



遠藤学長から名誉博士号を授与された受章者  
（前列右3人目から、金総長、遠藤学長、ホンドゥル教授、ホリスター博士）

## 「第4回弘前大学鷹揚さくら会」を開催

弘前大学では、同大に勤務した事務系・技術系職員と現職員の交流を目的として「第4回弘前大学鷹揚さくら会」を同大学創立50周年記念会館みちのくホールで6月5日に開催しました。

第4回となる今回は、弘前大学創立60周年記念事業の一環として行われ、総会では名誉会長である遠藤正彦学長の挨拶に続いて、会長である渡辺政美財務・施設担当理事（副学長）から、「弘前大学この1年のあゆみ」と題し講演が行われました。

引き続き、大学会館に場所を移して行われた懇親会では、遠藤学長、OBを代表して吉田豊前学長、工藤敏夫元事務局長が挨拶し、鈴木尚元事務局長の発声で乾杯した後、集まった約70名の参加者は弘前大学での思い出などで和やかに懇談し旧交を温めました。

なお、アトラクションとして学生のサークルから邦楽愛好会による琴の演奏が行われ参加者の好評を博していました。

会には、吉田前学長、鈴木元事務局長、菅原元事務局長、工藤元事務局長のほか、大学側から、遠藤学長、渡辺理事ら各理事、部課長、その他在職者の多数が参加し、大学の現状等についても意見交換を行っていました。



鷹揚さくら会に出席したOBら

## 弘前大学名誉教授称号授与式を挙 行 ～村田 俊一氏ら9名に名誉教授の称号を授与～

今年3月31日限りで退職され、本学において、教育上又は学術上特に功績のあった9名の本学元教授に「弘前大学名誉教授」の称号が授与されました。

これにより、平成21年4月1日現在における本学名誉教授の称号を授与された方は243名となりました。

授与式は、6月1日（月）午前11時00分から関係学部長等列席の下、事務局大会議室において執り行われ、遠藤学長から一人ひとりに辞令書が交付されました。また、授与式終了後、創立50周年記念会館において懇談会が開かれました。

名誉教授の称号を授与された方々は次のとおりです。

村 田 俊 一	(人文学部)
北 田 俊 之	(教育学部)
加 地 隆	(医学研究科)
三 浦 秀 春	(保健学研究科)
雨 森 道 紘	(理工学研究科)
高 橋 秀 直	(農学生命科学部)
小 原 良 孝	(農学生命科学部)
宇 野 忠 義	(農学生命科学部)
佐々木 大 輔	(保健管理センター)



---

## 「弘前大学表彰」表彰式を挙

弘前大学では6月1日（月）、同大学事務局大会議室において「弘前大学表彰」表彰式が行われ、関係者列席のもと、遠藤学長より表彰状及び記念品が授与されました。

この表彰は、教育研究活動、課外活動振興支援、医療活動、教育研究支援活動、大学改革の推進、社会活動、職員の模範となるような活動等において顕著な功績があった教職員等について、「弘前大学表彰」により表彰することにしており、今回の受表彰者は次のとおりです。

### 【個人】

○吉澤 篤（理工学研究科 教授）

液晶材料の研究開発において、ブルー相Ⅲという特殊な液晶相の温度幅拡大に成功、また学生及び院生の教育にも尽力し、優秀な研究者を育てあげたことによる、教育研究活動における顕著な功績

○笹川 和彦（理工学研究科 教授）

電子パッケージに関する研究において、高集積回路等の電子デバイスに用いられる微細金属配線を対象として、信頼性を評価する方法を開発したことによる、研究活動における顕著な功績

○古屋 泰文（理工学研究科 教授）

遠心鑄造法を用いた金属ガラス製品の作製、並びに医療用材料向け高性能TiNi系形状記憶合金の開発等、数々の材料における先進的な研究開発をしたことによる、研究活動における顕著な功績

### 【団体】

○医学部附属病院 泌尿器科スタッフ

泌尿器科における新術式の開発に一丸となって取り組み、ミニマム創前立腺摘除術や膀胱全摘・回腸新膀胱形成術という新たな摘除術をいち早く確立したことによる、医療活動における顕著な功績

○弘大ライナーズ

本学の教職員で構成される野球チームとして、精力的に各野球大会へ参加し、特に弘前市朝野球大会には連続四十年出場し続け、長年にわたり教職員の親睦を深め、また地元地域との交流を図る等、本学職員の模範となる活動による顕著な功績



---

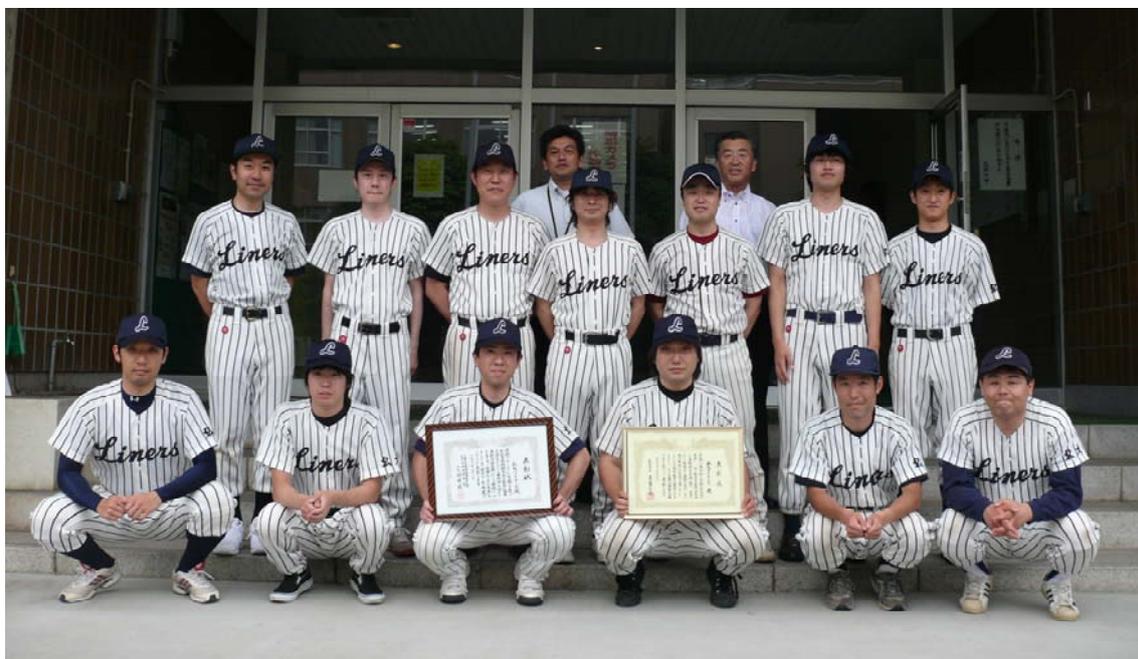
## 「弘大ライナーズ」 朝野球大会連続40年出場表彰及び弘前大学表彰受賞

弘前大学の教職員で構成される野球チーム「弘大ライナーズ」は、教職員間の親睦を図ることを目的に、昭和45年に結成され、地元の朝野球大会へ参加するなど活動を続けてきました。

このたび、弘前市朝野球協会から、同市朝野球大会への出場が連続40年続いている功績に対して表彰されることとなりました。

この朝野球大会は、例年5月～7月までの期間に、平日の早朝に行われているもので、地元の企業や愛好会などが参加して行われている。「弘大ライナーズ」も、創設期からこの大会に参加しており過去には、弘前市代表で県大会への出場したことや参加登録メンバーが減少し、チームの存続そのものが危ぶまれた時期もあったが、メンバーの野球に対する情熱が連続40年出場という輝かしい歴史につながることとなりました。

また、今回の表彰は、弘前大学教職員として、長年にわたって地域との交流を深めてきたものであり、他の教職員の模範となる活動として、大学内でも評価され、「弘前大学表彰」を受賞することとなり、選手たちにとっては二重の喜びとなりました。



## 北日本新エネルギー研究センターの開所式を挙

弘前大学では、新たに設置した北日本新エネルギー研究センターの開所式を6月30日に挙

行し、大学関係者のほか来賓など関係者約80名とともに開所を祝いました。同センターは、他大学と連携しバイオマスなどの自然資源を活用した新エネルギーの研究開発拠点として、低炭素社会実現と地域の新産業創出を目指すこととしています。また、同センターは青森空港をはじめ2010年度開業予定の東北新幹線新青森駅、高速道路など交通アクセスに優れている面から青森市に設置し、同大学の青森キャンパスの役割も担います。

式では、遠藤正彦学長が「センター関係者一丸となって、実学として実現可能な研究に邁進し、いち早く成果を挙げるとともに、青森県が、未来のエネルギーの研究・開発の拠点となることを念じた



式辞を述べる遠藤学長



遠藤学長（左）と南條学長特別補佐（右）

---

## ■ 諸 会 議

### ▼役員会

6月3日（水）

#### 審議事項

- 1 弘前大学男女共同参画宣言等について
- 2 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について
- 3 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について

#### 報告事項

- 1 弘前大学創立60周年記念式典等について
- 2 第4回弘前大学鷹揚さくら会の開催日程等について

6月8日（月）

#### 審議事項

- 1 平成22年度概算要求について
- 2 平成20事業年度財務諸表について
- 3 国立大学法人弘前大学 第2期中期目標・中期計画について
- 4 平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
- 5 科学研究費補助金獲得増に向けた底上げ支援への協力について
- 6 平成21年度科学研究費補助金に係る不採択者支援事業について

#### 報告事項

- 1 国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて
- 2 総合文化祭の実施について
- 3 平成21年度弘前大学機関研究公募について
- 4 弘前大学60周年記念事業「科学者発見プロジェクト」の応募状況について
- 5 日本学術会議東北地区会議について

6月12日（金）

#### 審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
- 2 平成22年度概算要求について
- 3 平成20事業年度財務諸表について
- 4 平成22年度入試関係要項について
  - (1) 平成22年度入学者選抜要項
  - (2) 平成22年度学生募集要項（AO入試）
  - (3) 平成22年度学生募集要項（推薦入試）
  - (4) 平成22年度学生募集要項（社会人入試）
  - (5) 平成22年度学生募集要項（私費外国人留学生入試）

#### 報告事項

- 1 中期目標・中期計画の素案の提出等について

6月22日（金）

#### 審議事項

- 1 平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

#### 報告事項

- 1 平成20事業年度に係る業務の実績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリング実施について
  - 2 平成21年度日本学術会議東北地区会議－科学者との懇談会及び公開学術講演会について
  - 3 平成21年度教育研究高度化のための支援体制整備事業について
  - 4 平成21年度会計監査人の選任について
-

---

6月29日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部改正について
- 2 第2期中期目標・中期計画（素案）について

報告事項

- 1 平成21年度内部監査年度計画書について
- 2 農学生命科学部の設置計画履行状況報告について
- 3 平成21年度教育研究高度化のための支援体制整備事業計画書の提出について
- 4 科学研究費補助金獲得増に向けた底上げ支援への協力について
- 5 弘前大学創立60周年記念事業「科学者発見プロジェクト」応募状況（最終）について
- 6 学術情報部等の「コラボ弘大」への移転について
- 7 平成21年度シーズ発掘試験の採択結果について
- 8 第8回産学官連携推進会議（京都会議）について

その他

- ・喫煙マナーについて
- ・学内の駐輪マナーについて

▼教育研究評議会

6月9日（火）

審議事項

- 1 弘前大学男女共同参画宣言等について
- 2 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について
- 3 平成22年度入試関係要項について
- 4 国立大学法人弘前大学第2期中期目標・中期計画について
- 5 平成20事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
- 6 弘前大学出版会について

報告事項

- 1 教員人事について
- 2 平成20年度卒業・修了者進路状況について
- 3 平成21年度科学技術振興調整費審査結果について
- 4 平成21年度北東北国立3大学連携推進研究プロジェクト募集について
- 5 委員会報告

▼教育・学生委員会

6月24日（水）

審議事項

1. 平成20年度「学生による授業評価アンケート」の報告書の作成について
2. 卒業生及び企業等アンケート調査について
3. 弘前大学学生の懲戒処分に関する規程の一部改正について

報告事項

1. 第7回FDワークショップについて
  2. 教員のための学生指導・学生支援の手引きについて
  3. 平成21年度前期「学生による授業評価アンケート」の実施について
  4. 平成21年度前期授業料免除者の選考結果について
  5. 日本学生支援機構奨学金奨学生の推薦について
  6. 学生寮の消防訓練について
  7. 東北地区大学体育大会 ソフトテニス競技について
  8. 学生ボランティア活動助成の採択書の交付について
  9. 「公立学校等教員採用候補者選考」大学推薦候補者の選考について
  10. 駐輪禁止区域における駐輪について
-

---

▼21世紀教育センター運営委員会

6月18日(木)

審議事項

- 1 平成21年度北東北国立3大学単位互換実施要項について
- 2 その他  
(1) 第59回東北・北海道地区大学一般教育研究集会について

報告事項

- 1 センター長報告
    - (1) 教育研究評議会
    - (2) 中期目標・中期計画策定会議
    - (3) 学士課程教育協議会
    - (4) その他
  - 2 専門委員会報告
    - (1) 教務専門委員会
    - (2) FD・広報専門委員会
  - 3 各種委員会報告
    - (1) 教育学生委員会報告
  - 4 科目主任会報告
  - 5 その他の報告
-

# 人事異動

## [昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年6月1日	主任作業療法士(病・リハビリ)	對馬祥子	療法士長(病・リハビリ)
平成21年6月1日	衛生検査技師(病・MEセンター)	佐藤正治	主任臨床工学技士(病・MEセンター)

## [職務付加]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年6月1日	療法士長(病・リハビリ)	對馬祥子	主任作業療法士(病・リハビリ)

## [退職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年6月30日	助教(医)	及川広一	退職
平成21年6月30日	助教(医)	鈴木康一	退職
平成21年6月30日	看護師(病・看)	竹中まり子	退職

## [育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年6月20日	看護師(病・看)	成田真子	平成22年9月30日まで
平成21年6月23日	看護師(病・看)	加治屋奈々	平成22年3月31日まで
平成21年6月26日	看護師(病・看)	村上久美子	平成22年3月31日まで

## [復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年6月27日	一般職員(教育)	小松千雪	復職

---

## ■ 主要日誌

- 6月1日 弘前大学表彰式  
弘前大学名誉教授称号授与式  
懇談会
- 2日 給食施設栄養管理指導事業の実施  
入学試験委員会  
総合文化祭実施委員会
- 3日 役員会  
弘前大学創立60周年記念式典学生ボランティア説明会
- 5日 鷹揚さくら会  
弘前大学名誉博士称号授与式  
弘前大学名誉博士称号授与レセプション
- 6日 弘前大学創立60周年式典 他
- 8日 役員会  
芸術祭実行委員会
- 9日 運営会議  
教育研究評議会  
学士課程教育協議会
- 10日 課外活動連合会説明会
- 12日 経営協議会  
役員会
- 13日 八戸地区同窓会  
第6回FDワークショップ  
朋寮・北鷹寮消防訓練
- 21日 60周年学生参加事業 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団創立40周年記念演奏会
- 22日 役員会
- 24日 教育・学生委員会
- 27日 60周年学生参加事業 弘前大学劇研マップレス新人公演2009
- 28日 60周年学生参加事業 弘前大学劇研マップレス新人公演2009
- 29日 役員会
- 30日 学長説明会（人文）

---

## ■ 学内規則

(平成21年6月1日改正)

### ○国立大学法人弘前大学職員給与規程

「一般職の職員の給与に関する法律（昭和二十五年四月三日法律第九十五号）」の一部改正に伴い、国家公務員に準じて本学職員に対する期末手当の支給割合等を改定するため、この規程の一部を改正した。

### ○国立大学法人弘前大学期末手当、勤勉手当及び期末特別手当支給細則

「人事院規則九一四〇（期末手当及び勤勉手当）（昭和三十八年十二月二十日人事院規則九一四〇）」の一部改正に伴い、国家公務員に準じて本学職員に対する勤勉手当の成績率の特例について規定するため、この細則の一部を改正した。

弘前大学学報第63号

弘前大学総務部総務課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172) 36-2111